

第18回高温エレクトロニクス研究会

—高温環境における発電システム—

2008年3月5日(水) 13:30 - 17:20

JAXA 宇宙科学研究本部 相模原キャンパス本館 2階大会議室 ※参加費無料

プログラム

(敬称略, 各講演質疑含めて30分)

13:30 - 14:00

高本達也

(シャープ(株)ソーラーシステム事業本部)
高効率多接合型太陽電池の高温特性

14:00 - 14:30

豊田裕之(宇宙研)

宇宙用太陽電池の高温高照度環境における長時間動作特性

14:30 - 15:00

石井竜介

(関西電力(株)電力技術研究所)
SiC ツェナーダイオードの高温動作

15:00 - 15:30

吉田清輝(古河電工 横浜研究所)

AlGaIn/GaN HFET の高温動作

15:30 - 15:50 休憩

15:50 - 16:20

澁谷秀樹

(富士重工業(株)スバル技術研究所)
大容量リチウムイオンキャパシタの開発

16:20 - 16:50

鶴野将年(宇宙研)

低軌道衛星負荷を模擬した電気二重層
キャパシタの寿命評価試験

16:50 - 17:20

吉田浩明(GSユアサテクノロジー)

人工衛星用リチウムイオン電池の劣化メカニズム・寿命予測方法・高温時の挙動

第18回高温エレクトロニクス研究会を2008年3月5日にJAXA 宇宙科学研究本部相模原キャンパスにて開催いたします。皆様の参加をお待ちしております。

本年度のテーマ

本年度は「高温環境における発電システム」をテーマとして、この分野の第一線の研究者の方々にご講演をいただきます。発電システムの熱問題を、「太陽電池」、「パワーデバイス」、「バッテリー」、などの観点から理解することを趣旨としております。

高温エレクトロニクス研究会とは

高温エレクトロニクス関連分野は、宇宙をはじめとして、パワーデバイス、カーエレクトロニクス、資源探査、原子力等の広い領域に渡ります。本研究会は、このような高温エレクトロニクスのシステム・デバイス・材料に関する技術の現状を把握するとともに、その新しい応用分野を開拓することを目的として、広い層の研究者・技術者相互の交流を促進するよう、毎年開催されています。

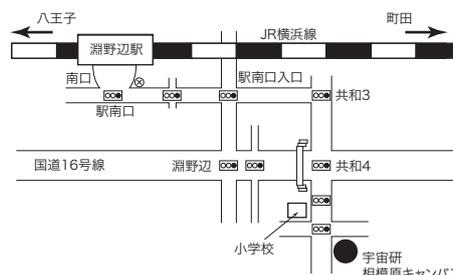
■参加申し込み / 参加費

事前申し込みは不要です。また、参加費は無料です。

■問い合わせ先

JAXA 宇宙科学研究本部 宇宙探査工学研究系
准教授 廣瀬和之, 助教 小林大輔
〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
042-759-8326/8328 hte@isas.jaxa.jp

■最寄り駅から相模原キャンパスまでのご案内



JR 横浜線淵野辺駅
南口より徒歩 20分

会場(本館)は
入り口正面の建物に
なります